

令和 8 年度 事業計画書

ハレルや 就労継続支援 B 型事業

管理者 井上 愼家

サービス管理責任者 谷尾 祐紀

1. 運営方針

- (1) 安定運営を目指し施設で創意工夫し黒字運営を行う。
- (2) 職員全員が意識を持ち新たな利用者、新たな仕事の確保に努力をする。

2. 重要施策

- (1) 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成する。
- (2) 利用者に対して障害福祉サービスを提供するとともにその効果について継続的な評価を実施する。
- (3) 利用者が欲する障害福祉サービスを提供することにより、利用者満足度を向上させる。

3. 年間事業計画

(1) 訓練給付費計画 45,120,000 円

(2) 作業計画

○軽作業

- ・黒にんにく作業（自然共生）選別、計量、パック詰め、皮むき等
年間売上目標 156 万円（税込み）
- ・白ニンニク作業（関西通商）草抜き、収穫、ばらし等
年間売上目標 44.4 万円（税込み）
- ・自動車部品作業（瀬戸内デリバリーサービス）糸切り、ボタン付け等
年間売上目標 21 万円（税込み）

○食品製造販売

- ・シフォン製造（自社製造販売）
年間売上目標 260 万円（税込み）
- ・クッキー製造
年間売上目標 5 万円（税込み）
- ・冷凍うどん製造
年間売上目標 270 万円（税込み）

○清掃作業

- ・公園清掃等（緑化協会、宇野港管理事務所）ゴミ拾い、トイレ清掃、草刈り等

年間売上目標 360 万円（税込み）

- ・ヤマスイ物流 清掃

年間売上目標 132 万円（税込み）

4. その他取り組み

- （1）毎月、職員会議を行い、利用者や各部署の運営状況について話し合いを行う。
- （2）定期的に内部研修を行い、職員の専門的な知識や技術の習得を図る。

令和 8 年度 事業計画書

なないろ 生活介護事業

管理者 成宗 良

サービス管理責任者 山田 照美

1. 運営方針

- (1) 社会から認められる施設を目指し日々の業務に誠実に取り組む。
- (2) 施設の安定運営を目指し施設で創意工夫し黒字運営を行う。

2. 重要施策

- (1) 強度行動障害の理解や受け入れ体制の構築及び多様性への理解力を深める。
- (2) 支援学校や医療機関などの関連機関から令和 8 年度は 3 名契約する。

3. 年間事業計画

- (1) 強度行動障害の理解・受け入れ体制構築
強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）受講する。

研修内容	受講人数
基礎	1 名から 2 名
実践	1 名から 2 名

多様性への理解

障がい者への合理的配慮や意思決定などを意識づけるように研修参加や掲示物を利用して理解を深める。

- (2) 介護給付費予算（令和 8 年度は 3 名契約）

令和 8 年度は 3 名を契約し、44,018,590 円とする。

令和8年度 事業計画書

ほくと 就労継続支援B型事業
管理者 北本 進
サービス管理責任者 北本 進

1. 運営方針

- (1) 施設の安定運営を目指し、創意工夫し黒字運営を行います。
- (2) 職員全員が意識を持ち、新たな支援、新たな作業の創出に努力をします。

2. 重要施策

- (1) 平均工賃4万2千円以上を達成し、目標工賃達成加算算定を目指します。
- (2) 職員の支援力向上を図り、質の高いサービスの提供を行います。

3. 年間事業計画

- (1) 訓練給付費5100万円以上を確保します。
- (2) 店舗売上年間100万円増を目指します。
 - ① メニュー品質の向上を行います。
 - ② 新しいテイクアウト商品を作ります。
- (3) 支援力向上のため、職員による職員のための研修を行います。
年3回事業所の会議の中で行います。
- (4) 個別支援計画のさらなる質の向上を行います。

4. 余暇活動として。

- (1) 5月、10月に外出行事を行います。

令和 8 年度 事業計画書

みなと就労継続支援 B 型事業

管理者 大竹 洋輔

サービス管理責任者 大竹 洋輔

1. 運営方針

- (1) 安定運営を目指し施設で創意工夫し黒字運営を行う。
- (2) 職員全員が意識を持ち新たな利用者、新たな仕事の確保に努力する。

2. 重要施策

- (1) 安定した利用者確保と稼働率向上を目指し、報酬収入の拡大を図る。
- (2) 高単価な作業の確保とセルフうどん店舗の土日営業を早急に再開し利用者の活躍の場を広げながら収益向上に繋げる。

3. 年間事業計画

- (1) 利用者確保のため相談支援事業所（倉敷・浅口）を年 3 回ペースで訪問を実施し営業活動を行うことで新規利用者受け入れに繋がる様に努める。
- (2) 支援学校の実習生を積極的に受け入れる事で、将来的な利用者の安定確保を図る。
- (3) 稼働率向上のために利用者一人ひとりの障害特性や体調に応じた作業内容や作業時間の調整を行う。
- (4) 経費削減のため毎月の在庫管理を徹底する事や仕入れ先を見直しコストの最適化を図る。
- (5) うどん店舗は、早急に人材を確保し、令和 8 年 9 月までに土日営業の実施を目標とすると共に、SNS・ラジオ CMを通じて集客増と収益向上を図る。また、店舗の名物商品として大きなかき揚げを商品展開の目玉にする。
- (6) 既存の作業に加え、内職あっせん所への定期的な連絡・情報収集を行い、高単価かつ安定的な作業を目指す事で事業の就労基盤を強化する。

4. 令和8年度収益計画等

(1) 訓練給付費予算

令和8年度は4名を新規契約し、43,719,686円とする。

(2) 各作業売上目標

・うどん店舗作業

年間売上目標 21,360,000円

・柿の加工作業

年間売上目標 441,000円

・内職作業（バリ取り作業等）

年間売上目標 1,445,000円

令和8年度 事業計画書

GHにじいろ 共同生活援助護事業

管理者 成宗 良

サービス管理責任者 山田 照美

1. 運営方針

- (1) 施設の安定運営を目指し各施設が創意工夫し黒字運営を行う。
- (2) 利用者、ご家族との連携を図り安心して利用していただける施設を目指します。

2. 重要施策

- (1) 日常生活で使用しているコスト削減を図る。
- (2) 家庭的な雰囲気の中で共同し自立した日常生活が送れるようにする。
利用者の障害特性や生活に合わせ各利用者のニーズに沿った支援を行う。

3. 年間事業計画

- (1) コスト削減
共用スペースの空調機器の取替えや水道光熱費などを意識する。
- (2) GWや年末年始の食事を普段と違った食形態を提供しながら、季節感などを実感できる環境を設ける。
休日を利用して利用者の意向に沿って、障がい者スポーツ大会や個々の希望に沿った外出や日帰り旅行を実施する。
- (3) 訓練給付費予算
13,200,000円とする。